

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：平成 19 年度 ～ 平成 22 年度

課題番号：19320028

研究課題名（和文） 鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究

研究課題名（英文）

研究代表者 波照間永吉（HATERUMA EIKICHI）

沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授

研究者番号：30189576

研究代表者の専門分野：文学研究

科研費の分科・細目：哲学・美学・美術史

キーワード：①美学 ②データベース

1. 研究計画の概要

本研究では以下のことを平成 19 年度～平成 22 年度の研究期間に達成しようと計画している。

- 1) 鎌倉芳太郎紅型型紙資料・写真資料画像データベースを統合した鎌倉芳太郎資料の総合画像データベースの構築と、インターネット上での公開。
- 2) 鎌倉芳太郎ノートのデジタル画像化と鎌倉芳太郎資料の総合画像データベースへの統合。
- 3) 鎌倉芳太郎収集紅型型紙資料の軟X線撮影による朱文字情報の解読。

2. 研究の進捗状況

このうち、1) 総合画像データベースの構築に関しては、ほぼ基礎作業を完了しており、インターネット上での公開に伴う種々の問題について検討を重ねている段階である。

- 2) 鎌倉芳太郎ノートのデジタル画像化と鎌倉芳太郎資料の総合画像データベースへの統合については、全 81 冊の鎌倉芳太郎ノートの約半分（40 冊）の撮影を終えた所である。残る 1 年で全て完了すべく作業を進めている。
- 3) 鎌倉芳太郎収集紅型型紙資料の軟X線撮影による朱文字情報の解読については、方法論上の問題から昨年度より赤外線撮影する方法に変更して撮影を続けており、2/3（約1100 点）の撮影が終了している。

3. 現在までの達成度

- 1) 総合画像データベースの構築はプロトタイプをほぼ完成、2) 鎌倉芳太郎ノートのデジタル画像化については約 50%の達成、3) 鎌倉芳太郎ノートのデジタル画像化については 70%の達成という状況であり、全体的には当初計画の 60%程度まで達成したと考えている。

4. 今後の研究の推進方策

鎌倉ノートの撮影とデジタル化に伴う総合画像データベースの公開に向けての作業が、当初計画より遅れている。この点を平成 22 年度に押し進め、当初の計画を達成することが今後の課題である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 6 件）

- ①波照間永吉、発見された紅型紋様図案帖、沖縄タイムス、2007 年（5 月 21 日）、査読無
- ②柳悦州、鎌倉芳太郎収集紅型型紙資料-県立芸術大学附属図書・芸術資料館蔵収蔵品から-、琉球新報 2008 年（8 月 22 日）、査読無
- ③波照間永吉、柳悦州、久万田晋、波平八郎、「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」報告、沖縄芸術の科学、第 21 号、pp. 113-167、2009 年、査読無

④波照間永吉、鎌倉資料の果たした役割、琉球絵画展図録、p. 84、2009年、査読無

⑤柳悦州、ラオスとシルクロード沿いの諸国の細帯文化、ミンサー全書、pp.35-45、2009年、査読無

⑥久万田晋、沖縄・奄美における三線の広がり、まるごと三味線、pp. 35-43、2009年、査読無

〔学会発表〕(計1件)

① 波照間永吉、南島の民衆生活と歌謡、韓国国民謡学会・国立南道国学院シンポジウム「民謡と東アジアの民衆生活、そして研究の問題点」、2009年(9月26日)、韓国珍島・国立南道国学院

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕